GH向け請求システム発売

くすりの窓口

記録・科学的介護支援システムと連携予定

くすりの窓口（東京都豊島区）は11月1日、介護請求システム「CareDaisy（ケアデイジー）」を発売する。同システムはグループホーム向けのクラウド型請求システムで、インストール作業、端末台数の制限、1事業者あたりの利用者数の制限がなく、ブラウザでの提供のため専用端末も必要ない。実績情報、利用者情報などはタブで切替表示ができ、利用者実費分も確認可能。文字を大きくし操作性に優れた画面設計になっているという。

▲システムイメージ

同社が提供する記録システム「ケア記録アプリ」「コメットケア」、科学的介護支援システム「LIFE Webサービス」と連携予定だという。請求システムと記録システムとの連携により、正確な実績と状況を記録し、請求のための実績確認業務の負担を軽減。LIFE対応支援システムとの連携では、LIFE加算取得のための業務を削減し、現場の負担を軽減させる。

介護事業部の有山哲統括部長は「CareDaisyを中心に記録システム、科学的介護支援システムとのPDCAサイクル運用を構築中だ。また、従来の請求システムと比較すると価格も抑えている」と語る。

今後はグループホーム以外のサービス事業所への対応、アセスメント登録、職員の出退勤管理、入居スケジュール管理などの機能を追加予定。各種センサー、外部システムとの連携も視野に入れているという。